

令和3年8月19日

保護者 各位

那覇市立神原中学校
校長 馬上 晃
(公印省略)

水難事故防止の強化について(依頼)

平素より、本校の学校教育に対してご理解とご協力いただき感謝申し上げます。

先日、8月10日に浦添市において、中学生が、川遊びをしていたところでおぼれ、通報を受けた消防が心肺停止の状態で見つかる生徒を発見、死亡する事故が発生いたしました。

那覇市においても、波之上ビーチ近くの海岸、または港湾施設等遊泳禁止となっている場所において、小中高生による飛び込み等の危険行為の情報が多数あります。

本校では、これまでも水難事故防止を含めた事故防止に向け、全職員共通理解のもと、組織的に取り組んでいるところです。今回の事故を受け、下記の水難事故防止について、ご家庭でも改めての共通理解を図り、生徒の安全確保ができるよう指導の徹底をお願いします。

記

1 水難事故防止に係わる確認事項

- (1) 子供達だけで魚釣り、魚介とり、マリンレジャーは行わない。必ず大人と一緒に行きましょう。
- (2) 海水浴等は、監視員や救助員の配置されているビーチで行いましょう。
- (3) 体調不良の時は海や河川に入らないようにしましょう。
- (4) 魚釣り、魚介とり、シュノーケリングについては、必ずライフジャケットを着用しましょう。
- (5) 保護者は常に監視しましょう。

(保護者の皆さん、「誰かが監視してくれるだろう」、「ちょっとの間だけ」)は禁物です。遊泳中は絶対に目離さないで下さい。)

2 子供達の水難事故の特徴

- ・年齢とともに遠方へ、保護者不在へ
- ・身近な川→漁港→海浜へ
- ・単独→兄弟とともに → 友達同士へ

幼児の特徴・・・単独または兄弟と行動中、身近な川・池に転落する。

小学生の特徴・・・兄弟とまた友達と川遊び中、深みにはまり溺水

中学生の特徴・・・漁港内で友達と釣りや遊泳中に溺水

高校生の特徴・・・友達同士で管理者のいない海岸で沖に流される。

沖縄県水難事故防止推進協議会資料より抜粋